

あこう社協だより



【特集】これからの地域を考える

第3回：地域の居場所

- 「ふれあい・いきいきサロン」…………… 2P
- 三世代交流事業助成先決定！…………… 4P
- まち発見！あこう福祉ニュース…………… 5P
- 生活支援サポーター養成講座のご案内
- 福祉作文募集…………… 6P
- 障がい者総合支援事業とは…………… 7P
- あこうのホッとな人 No37…………… 8P

7月14日（水）、16日（金）に男性シニア対象ボランティア養成講座を開催しました。おもちゃ病院でおもちゃの修理ボランティアをされている2名を講師に迎え、2日間で木の小物入れなどを作成しました。皆さん真剣に取り組み、とても素敵な作品が完成しました。

新しいことを始める機会に、ボランティアはいかがでしょうか。

これからの地域を考える

第3回：地域の居場所「ふれあい・いきいきサロン」

これまで2回にわたり、超高齢社会において、将来に向けて今からできることを考えてきました。それは、①健康寿命の延伸 ②つながり・支えあいをカタチにする であり、“コロナだけど” 続けていくことが大切です。

今回は、上記①②の両方が期待できる「ふれあい・いきいきサロン(以下サロン)」についてご紹介いたします。

「サロン＝おしゃべりの場」だけじゃない！



サロンなどの「地域の居場所」に参加している方の楽しみは、何ととっても、おしゃべりです。最初から最後まで、地域で起こった出来事や近況を話し、話題は尽きません。それは、社会性(人とのつながり)を維持し、健康寿命の延伸につながります。

しかし、サロンの効果は、それだけではありません。何気ないおしゃべりの中での気付きや、「いつも来ている〇〇さん、今日は来てないね」というような見守りにもなっています。

地域の居場所 4つの効果

①心のやすらぎ

おしゃべりするもよし、買物や学校帰り、ゴミ捨てや散歩の途中にふらっと立ち寄るなど、気軽に集うことができます。また、多世代にわたって、さまざまな人とふれあうことで、いきいきとした生活ができ、心の刺激やリフレッシュになります。



②自分を発揮できる

地域の居場所に行き、お互いに支えあいながら過ごすうちに、自分が今まで培ってきた知恵や特技を発揮したり、新たに発見することができます。そして、自分に自信を持つことができ、社会性の維持や社会参加のきっかけになります。

③地域に仲間ができる

何気ないおしゃべりの中でお互いのことを知り、気にかける関係が生まれてきます。信頼できる仲間ができ、抱えている悩みを相談し合い、気にかける関係ができることが、支えあいの地域づくりで大切なことです。



④安全・安心な地域に

昨今は、隣に誰が住んでいるか分からないなど、つながりが希薄になっていると言われていています。しかし、地域の居場所での出会いが、顔の見える地域づくりにつながり、人と人とがつながることで、地域への関心が高まります。

(サロン紹介)

モーニング会 (上仮屋)

まん延防止措置が解除された7月14日(水)、感染症対策を万全にして、サロンが再開されました。このサロンでは、名前のおりモーニングを楽しんでいます。この日も、農園で採れた野菜やこだわりのコーヒーが振る舞われました。

また、食事の後には、恒例の歌唱タイムがあり、会員のギターや三線、フルートの伴奏に合わせて歌いました。

孤食の防止に加え、食事の調理や配膳、歌集を配ったり特技を披露する方など、皆さんが役割を持ち、いきいきと活動しています。



3回にわたり、これからの地域について考え、「健康寿命の延伸」「支えあいの地域づくり」「地域の居場所」をご紹介しました。これら以外にも、これから住み慣れた地域で生活するために、必要なことは多くあります。できることから、少しずつ進めていきましょう。

また、それらの活動をするために、現在は感染症対策が欠かせません。社協では、『地域福祉活動ガイドブック』を作成しました。

社協窓口またはホームページからダウンロードできますので、ご一読ください。



令和3年度三世代交流事業の 助成先が決定しました!!

広報やホームページ等を通じて募集したところ、4団体の応募があり、7月20日（火）に審査委員会を開催し審査した結果、下記のとおり助成が決定しました。

交流内容は、あこう社協だよりで随時紹介していきます。



団体名	交流内容	助成決定額
正保橋町自治会	防災活動と三世代の交流	30,000円
橋本町自治会	三世代ふれあいスポーツ大会	30,000円
小島自治会	三世代ふれあい祭り	20,000円
千鳥自治会	AKO GENKI プロジェクト	30,000円

三世代交流事業とは？

市内に活動の基盤を有する5人以上で構成する団体などが、三世代交流を推進する目的で、自主・自発的に新たな行事を行う際に3万円を上限として、助成金を交付しています。

（交付決定には審査あり）

※令和3年度の募集は締切しました。

実習を終えて

新見公立大学の学生1名が、6月21日から7月2日、7月12日から30日の間、赤穂市社会福祉協議会で社会福祉士実習を行いました。お世話になった皆さん、ありがとうございました。



健康科学部
地域福祉学科 3回生

なおと
大森 正翔



赤穂市社会福祉協議会で約1カ月間の実習をさせていただきました。その中で特に印象に残った活動は、小学校での福祉体験学習です。福祉体験学習では、高齢者疑似体験と、車いす体験を実施しました。子どもたちからは、「高齢者ってこんなに大変なんや」、「段差が怖い」といった声が挙がっていました。

この学習は、子どもたちに、障がい者や高齢者を知るきっかけを作り、自分たちにできることを考える機会にすることが目的です。楽しみながらも子どもたちに、いかに考えてもらうか、また、その人の気持ちになってもらうかということと、声掛けが大切だと感じました。

他にもさまざまな活動に参加させていただき、

実習のまとめとして、地区の小学生と高齢者を対象にした交流事業を計画しました。小学生に福祉体験学習での学びを活かして、高齢者と交流を図りながら、地域について知って欲しかったからです。計画を立てる上で、地域のサロンや民生委員、小学校の先生など本当に多くの方に意見をいただき、協力していただきました。ありがとうございました。

実習前は、社協は何をしているのか漠然としたイメージしかありませんでしたが、実習を通して社協の活動や地域への関わり方、赤穂市について知ることができ、良い経験になりました。ありがとうございました。

まち発見! あこう福祉ニュース



コロナ禍のサロン「どうしてる？」

7月9日（金）、「ふれあい・いきいきサロン実践者交流会」を開催しました。社協からの情報提供後、グループに分かれて現状を話し合い、他サロンの取り組みについて情報交換をしました。参加者からは、「約1年実施を見送っているが、今日の話聞いて少し勇気が出た」という声が聞かれました。



日々のたすけあいと防災意識

7月10日（土）、坂越上高谷地区にて防災避難訓練が行われました。行政、消防団、駐在所、学校、近隣福祉施設などの協力のもと、地域住民が声をかけ合いながら坂越地区体育館まで避難しました。豪雨災害が多いなか、日々の防災対策や地域のたすけあいの大切さを再確認する機会となりました。



生活に備災をプラス！

7月13日（火）、赤穂市地域活動連絡協議会主催の「防災ポーチづくり」が開催されました。防災士 金井貴子氏の指導のもと、手ぬぐいとヒモを使って、あっという間にポーチが出来上がりました。ポーチに入れる物は、個人によって違います。自分の使い慣れた物や必需品を選別し、災害に備える必要性を共有しました。



知らないことを知るとということ

7月10日・17日・24日（土）、福祉会館で「第36回市民福祉講座」を開催し、延べ140名が聴講しました。初回は、「ひきこもりを取り巻く現状」、2回目は「震災を越えた人の繋がり」、最後は「今子どもたちが直面している問題」と、それぞれ今の社会について考えさせられる講座でした。参加者からは、「自分とは遠い世界のことだと思っていた」と、理解を深める良い機会となりました。

『あこう福祉ニュース』にご協力ください!!

市内の地域や団体で、「こんな行事をするよ」、「こんな取り組みしてます」などの情報を、ぜひ社協までご連絡ください。取材に行かせていただきます。

●問合せ・ご連絡は下記まで



令和3年度

生活支援サポーター養成講座

全5回

高齢者の生活に寄り添い、日々の暮らしのちょっとした困りごとを支援し、暮らしの応援者になっていただくため、必要な基礎知識を学ぶ講座です。

- 場 所：総合福祉会館 2階研修室
- 対 象：地域での助けあい・支えあい活動に関心がある市民の方
- 定 員：25名（初めて受講される方優先）
- 受 講 料：無料
- 申込締切：8月31日（火）
- 申込方法：下記の電話もしくはメールで申し込み



日時	講義内容
[1日目] 9月7日(火) 13:30~17:00	・オリエンテーション ・職務の理解 ・老化や疾病についての理解と介護予防
[2日目] 9月14日(火) 13:30~15:40	・高齢者等の尊厳の保持
[3日目] 9月21日(火) 13:30~16:40	・本人や家族とのコミュニケーション
[4日目] 9月28日(火) 13:30~16:40	・制度理解 ・チームケア
[5日目] 10月5日(火) 13:30~16:40	・自立支援の理論と実践 ・生活支援サービス実施団体紹介 ・修了式

本講座の全日程（5日間）を修了された方に、修了証を交付します。修了証は、兵庫県内のみ有効で、生活支援訪問サービスに従事する際に必要となります。

実際にサービス従事者として業務を行うには、本講座の修了証を取得したうえで、事業所に雇用される必要があります。

要約筆記啓発講座

聞こえにくい悩みを持った方への理解を深め、配慮や支援の方法を学んでみませんか。

難聴の方からの実際の体験についてのお話もあります。

「聞こえ」について関心のある方、お気軽にお申し込みください。

- ◆ 日 時 9月8日・15日・22日・29日
全4回、毎週水曜日
午前10時～11時30分
- ◆ 場 所 総合福祉会館 2階研修室
- ◆ 対 象 「聞こえ」について関心のある方 10名
※難聴者、その家族の方もご参加いただけます
- ◆ 講 師 赤穂イヤモード
- ◆ 受 講 料 無料
- ◆ 申込締切 9月1日（水）
- ◆ 申 込 先 下記までご連絡ください。



福祉作文募集!

福祉に対する理解や認識を深めていただくため、『身近な福祉問題や活動』をテーマにした作文を募集します。

- ◆ 応募資格 市内在住の人または市内に通勤・通学する人
- ◆ 応募方法 応募作品に「題名、氏名（ふりがな）、住所、職業（学校名）、年齢、電話番号」を記入し、400字詰原稿用紙（20×20マス、A4サイズのみ）3枚以上5枚以内に濃くはっきりと書いて原本を提出してください。（応募作品は未発表のものに限ります。返却いたしません。）
- ◆ 応募締切 9月10日（金）社協まで持参または郵送

◎入賞者は、12月の「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上にて表彰する予定です。（佳作は除く）（新型コロナウイルスの感染状況により、変更になる場合があります。）

応募者
全員に
参加賞
あり



募金箱を設置しています

「令和3年7月大雨災害静岡県義援金」の募集について

7月1日からの大雨により、静岡県熱海市において大規模な土石流災害が発生し、大きな被害が生じました。静岡県共同募金会では、被災された方々を支援するこ

とを目的に義援金の募集を行っています。※詳細については、兵庫県共同募金会のホームページをご覧ください。

<https://www.akaihane-hyogo.or.jp/>

※赤穂市共同募金委員会では、窓口（社協内）において受付、受領証を発行し、正式な領収書は後日、静岡県共同募金会から送付されます。



障がい者総合支援事業とは

赤穂市社会福祉協議会では、居宅介護・同行援護・移動支援事業所及び相談支援事業所を開設しています。

今回は、障害者総合支援法について説明します。



●障害者総合支援法とは？

正式名称は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」です。障がいのある人もない人も共に住み慣れた地域で生活するために、日常生活や社会生活を安定して送ることができるよう、総合的な支援を行うことを目的としています。

【対象となる人】

・身体障がい者 ・知的障がい者 ・精神障がい者（発達障がい者を含む） ・難病等対象者

賛助会費ありがとうございました

【個人】中村 文代 望月 博子 古森 智恵美(敬称略)
 【法人】赤穂らいふ・けあ くいどうらく (株)ハトヤ
 (株)中田鉄工所 赤穂記念病院 (有)西備建材店
 赤井歯科医院 やの写真館 (株)赤松工業 (有)つづれや
 (株)ジョイハシモト シオヤ赤井歯科医院 大木産業(株)
 中村印刷(有) 品川リフラクトリーズ(株) 関西福祉大学
 アズビル(株) 赤穂点灯会 大嶋皮膚科医院
 菱彩テクニカ(株)赤穂工場 住友大阪セメント(株)赤穂工場
 日本カルミック(株) 三菱電機(株)系統変電システム製作所
 匿名2件

福祉の拠点をみんなで支えてください。

- 法人会費 5,000円
- 個人会費 2,000円 ●一般会費 500円



賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

あなたのやさしさを善意の窓口へ——

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
 預託状況(7月1日～7月30日受付分)

赤穂市善意銀行
 マスコットキャラクター



●委任預託 (敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
加 里 屋	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
中 広	総合福祉会館	37,131	善意の募金箱
南 野 中	有年 富子	10,000	車椅子借用御礼
—	匿 名	5,000	福祉用具借用御礼
さつき町	匿 名	5,000	福祉のために
—	匿 名	20,000	福祉のために

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

心配ごと相談所のご案内

(8月11日～9月8日まで)

【一般相談】 8月11日(水) 8月25日(水)
 9月 1日(水) 9月 8日(水)

【弁護士相談】(要予約) 8月18日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)
 8月25日(水) 9月 1日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。

※相談は無料です。

問合せは、下記までご連絡ください。

ひきこもり家族のつどい

外出しづらくひきこもり状態にある方の家族を対象に、つどいを開催します。

日々の思いや疑問、不安など何でも大丈夫です。ぜひこの機会に、一緒にお話ししてみませんか。

◆日 時：8月26日(木)
 午後1時～4時

◆場 所：みんなのいえ
 (赤穂市塩屋656-17)

◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族

◆参 加 費：無料

◆問合せ先：下記までお問合せください。

申込不要

時間内
 出入り自由



◎私は、人間関係でよく悩みます。

今、人との関わりが希薄になっていきますが、世の中やはりつながりが大切に思います。何気ない声かけで、人は元気になると思います。声をかけられた人はとても嬉しいものです。

以前、私が自転車で転倒した時、通りがかった方が「けがはないですか?」と優しく声をかけて下さいました。その一言が心から嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

(ウヅゴ)



『あこう社協だより』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。200字程度にまとめてください。

※送付先は、下記をご覧ください。

～あここの **ホツ** と **な** 人～ No.37

今回は、移送サービスボランティア「てんとうむし」や、買い物支援のボランティアなどで活動しながら、赤穂ボランティア協会の副理事長を務めている戸谷さんにお話を聞きました。

Q. 活動を始めたきっかけは?

A. 定年退職後、高齢者大学に入学しました。移送サービスボランティアの募集を知り、同じ地区に住む方からの勧めと、「何か始めたい」という思いが重なり、ボランティア活動を始めました。

Q. 活動をしていてうれしかったことは?

A. 皆さんからの「ありがたい」という言葉が励みになっています。今は活動できていませんが、赤穂精華園の生徒と月1回ゴミ拾いのボランティアをしていました。生徒の笑顔を見ると、ボランティア活動を続けてきて良かったと、とてもうれしい気持ちになります。

Q. これからの目標は?

A. 元気に身体が動く間は、ボランティア活動を続けていきたいと思っています。赤穂ボランティア協会が今年の4月から始めた買い物支援事業を定着させることが、今の目標です。買い物支援のボランティアを募集していますので、赤穂ボランティア協会まで連絡いただければと思います。

NPO法人 赤穂ボランティア協会 TEL:090-3674-6576



皆さんの笑顔が元気の源!
戸谷 喜伴さん(塩屋)



■ 編集後記 ■

蒸し暑い日が続いていますが、夏バテせずに元気にお過ごしでしょうか。我が家では、子どもが幼稚園で育てたミニトマトを今家で世話をしています。ようやく1個赤くなり始め、食べられる日を楽しみに待っています。いつも早くに枯らしてしまいましたが、今年はたくさん実ることを願っています。(か)

ご意見・問合せは ホームページもぜひご覧ください!

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397
FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp



最新情報は、facebookをチェック!



赤穂市社協

